

魚沼スマイルデマンドネットワークプロジェクト

概要

本市は、全域が過疎指定となっており、特に中山間地域では高齢化や人口減少が顕著であり、自治機能が低下しつつあることから、コミュニティ協議会の設立や集落支援員による支援活動により対策を実施しているところである。

地域の声(デマンド)に基づくネットワークを構築する実証実験を実施することで、地域資源(人・カネ・モノ・情報)の往来を活発化させ、集落やコミュニティ協議会を持続可能なもの(スマイル)へ発展させる。

事業の内容

事業の内容

【第1段階】市内の各コミュニティ協議会を繋ぐ共助の仕組みづくり

- ①「うおぬまお届け隊(仮)」実施隊の発足と運営による効果の検証
- ②コミュニティ協議会ネットワーク化の促進
- ③小ロット農産物の販売による地域活力向上の仕組みの検討と実証実験
- ④デマンド交通と「うおぬまお届け隊(仮)」の連携にむけた検討会

【第2段階】首都圏における認知度アップによる集落の経済活性化

- ①首都圏での農産物のニーズ創出のための検証
- ②「つながり・ロコミ」による知名度向上実験
- ③都心の人が行きたくなる「うおぬま」発見ダイアログ型ワークショップによる交流人口創出方法の検証

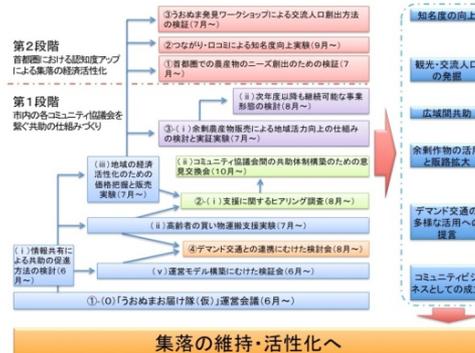
総事業費

10.1百万円

コミュニティ協議会の集落内部を把握し、外部とのパイプ役を兼ねる「うおぬまお届け隊(仮)」を本事業運営の基盤として発足し、第1段階「市内の各コミュニティ協議会を繋ぐ共助の仕組みづくり」と第2段階「首都圏における認知度アップによる集落の経済活性化」を同時進行で実施し、集落の維持・活性化に地域外からの流入による効果を検証する。

事業の成果

- ・魚沼の風土、豪雪、食、生活様式など、都会の人が感じる魅力を発見し、地域間交流の実施計画を作成できた。
- ・市内のコミュニティ協議会の課題と重要性を認識し、「魚沼お届け隊」を介した市の支援体制を構築した。
- ・都内に魚沼の食材を販売したり、これを使ったメニューを提供する飲食店を開拓できた。
- ・当初計画したデマンド交通の実施が困難であったが、これに代わる「高齢化対策共助事業補助金」の制度を立ち上げ、集落支援員を増員し、支援することとした。



新潟県魚沼市

首都圏イベントでの検証

市長も売り子でがんばります!



魚沼の食材は大人気で大繁盛!!

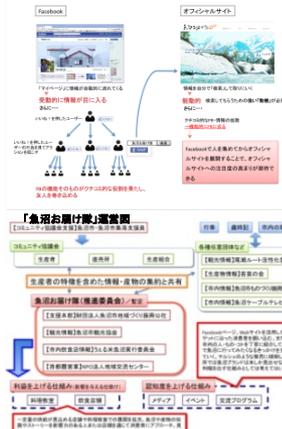


検証結果から活動計画を策定

魚沼お届け隊販売の仕組み



インターネットでの販売イメージ



H25以降の市全体のプロジェクト運営図

